

ワーキング題目 10年後のありたい姿

農林水産WG グループ1
6/28 AM

- ・氷見ブランドの維持
- ・食の魅力にあふれるまち
- ・氷見牛が増えている

食

- ・海と山との情報交換
- ・農山漁村での体験メニューが豊富なまち

交流

課題

⑤ ④ ③ ② ①

担氷食量 P

い見育の R

手産の確不

不の推保足

生活

足推進
進

自然

- ・まんがの聖地として認知されるまち
- ・目的地として選ばれる観光都市
- ・インバウンドが多数訪れるまち
- ・番屋街が賑わっている

観光

- ・新規創業を育てるまち
- ・若い人の農業者が増えている
- ・新技術（スマート農業）、脱3K
- ・製材、ベニア、チップ
- ・産業が持続可能なまち
- ・畑で野菜をつくりたい

産業

- ・山間地での居住増えている（田舎暮らし）
- ・災害のない氷見市になっているか
- ・災害に強い山林手入れが入っているか
- ・家族とくらしたい
- ・集落の人口は減っていないか
- ・営農組織での連携が生まれている

- ・荒廃地が減り棚田が美しいまま耕作されている農地が保全されている
- ・森が美しく保たれている
- ・イノシシは減っているか

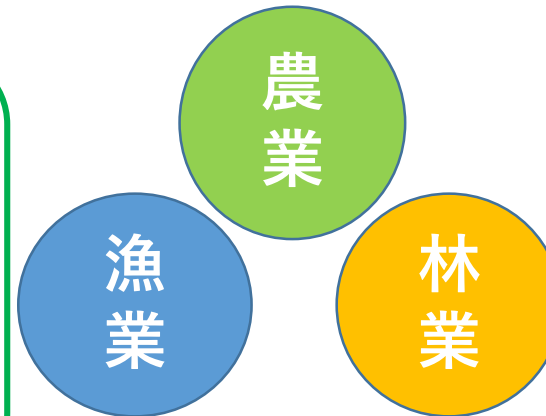
ワーキング題目 10年後のありたい姿

農林水産WG グループ2
6/28 AM

- ・ 30代の農業者が増加
- ・ 魅力ある仕事の中に農林漁
- ・ 新しい農業のスタイルに思い切って挑戦する

課題 作付水田が点在している

- ・ 漁獲量アップ
- ・ 漁価アップ
- ・ ぶりがたくさん獲れる
- ・ すべての漁業種類で生活を
- ・ 高齢化でも元気な漁師が頑張っている



- ・ ひみ里山杉のブランド化
- ・ 除草剤を使用していない
- ・ 手入れした森のこう付加価値化
- ・ ボカ杉を大事に育てる
- ・ 年代別に木育環境教育
- ・ 氷見にある全ての木に命を吹き込む

課題 漁獲量が不安定
地場でこなせる量が決まっている

課題 木育教育が必要

今あるものを活用していく必要がある